

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 会社案内

変革を推進する



レゲ・ミーイ・アナスンと家族
デンマークに住む彼女は妊娠糖尿病です。



ノボ ノルディスクは、変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患の克服に取り組んでいます。

デンマークを本拠とするグローバルヘルスケア企業として、95年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ、糖尿病ケアをリードしてきました。

糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力により、血友病や成長障害、そして肥満症など、糖尿病以外の深刻な慢性疾患を抱える人々もサポートしています。

ノボ ノルディスクは現在、80カ国に約4万2,200人の社員を擁し、170カ国以上に製品を届けています。

目次

社長メッセージ	03
ノボ ノルディスクの歴史	04
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について	05
ノボ ノルディスクの価値観	06
トリプルボトムラインの経営原則	07
究極のイノベーションの追求	08
社会への取り組み	10
人材育成への取り組み	14
働く環境への取り組み	15

一目で見るノボ ノルディスク

糖尿病、肥満症、血友病および成長障害の分野で働く



本 社: デンマーク
関連会社: 80カ国に関連会社があります¹。



製 品: 170カ国以上でノボ ノルディスクの製品を販売しています¹。



患 者: 世界で2,920万人の患者さんが、ノボ ノルディスクの糖尿病ケア製品を使用しています¹。
世界で使用されるインスリンの約半分はノボ ノルディスクの製品です²。



R & D: 中国、デンマーク、インド、米国、英国に研究開発センターがあります³。



従 業 員: 世界で約4万2,200人を雇用しています³。
日本では、約1,000人が働いています。



生産拠点: ブラジル、中国、デンマーク、フランス、米国に戦略的生産拠点をもち³、国内唯一の生産拠点は、郡山工場(福島県郡山市)です。

1. Novo Nordisk Annual Report 2018. Available at novonordisk.com. Accessed November 2019.

2. Novo Nordisk: Financial report for the period 1 January 2018 to 30 September 2018

3. Novonordisk.com. Accessed November 2019

社長メッセージ

ノボ ノルディスクは95年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた歴史を持つグローバルヘルスケア企業です。

私たちはこの受け継がれた伝統によって得た経験と可能性により、血友病や成長障害、そして肥満症など糖尿病以外の深刻な慢性疾患を抱える方々もサポートしています。

現在、私たちは研究開発戦略の対象を糖尿病や肥満症に関連する疾患の中でも、特に大きなアンメットニーズが存在する心血管疾患、肝疾患、慢性腎臓病のような新たな領域に広げています。

私たちは情熱とスキルと決意を持って、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服するための変革を推進しています。ノボ ノルディスクの主な貢献は、革新的なバイオ医薬品の創薬、開発、そして世界中の患者さんたちにそれらの医薬品を届けることですが、それだけでは変革を成し遂げるには十分ではありません。そのため、私たちは、健全な財務パフォーマンスを発揮することと同様に社会的、環境的責任を果たすよう持続可能な方法でビジネスを行って参ります。

ノボ ノルディスクは日本中でビジネスを展開しており、その歴史は60年以上も前にさかのぼります。日本支社は1980年に設立されました。

現在本社を東京に置き、営業オフィスは全国に54カ所、工場は福島県郡山市にあります。

また、グローバル臨床開発を国内でも推進しさまざまな臨床試験を行っています。

私たちは慢性疾患の患者さんが病気によって制限を受けずに豊かな生活ができるような未来の創造に向けて努めてまいります。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長
オーレ ムルスコウ ベック



ノボ ノルディスクは糖尿病ケアの変革を推進しながら95年以上の歴史を歩んでいます

インスリン療法のイノベーションの歴史



※ノボ ノルディスクは、インスリン分子に関する長年の研究で培った知識や経験を活かし、同様の技術で成長ホルモン、血液凝固因子、膵管ホルモン(GLP-1)を応用した治療薬も開発しています。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました

患者さん、医療機関の方々に、いつでも安心して使っていただける製品をお届けすることが、私たちの使命であると考えています。

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は1950年代より国内に流通しており、糖尿病の患者さんの治療改善に長らく貢献してきました。現在では約1,000人の社員が働いています。主な事業内容は医療用医薬品、医療機器の開発、輸入、製造、販売で、主な事業領域は糖尿病領域と、血友病や成長障害の治療薬を含むバイオフーマ領域です。東京本社を中心として、北海道から九州・沖縄まで各地に営業拠点を構えており、福島県郡山市には工場を展開しています。



郡山工場は1998年から稼働し、ノボ ノルディスクがグローバルで展開するプロダクトサプライネットワークの一つです。国内で流通するすべての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元管理した生産を行っています。

主要製品一覧



糖尿病領域

- インスリン製剤
- ヒトGLP-1アナログ製剤
- プレフィルド型インスリン注入器
- ペン型インスリン注入器

バイオフーマ領域

- 血液凝固因子製剤
- ヒト成長ホルモン製剤

ノボ ノルディスクには確固たる価値観があります

ノボ ノルディスクのビジョン・価値観・行動指針であるノボ ノルディスクウェイは、私たちが意思決定を行うときに、その考え方を裏付ける指針となるものです。



ノボ ノルディスク ウェイ

1923年、デンマーク人の創立者が糖尿病を変えるための旅を始めました。

ノボ ノルディスクには現在、世界中に数万人もの社員がおり、情熱とスキルと決意を持って、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服するための変革を推進しています。

- 私たちは、事業を行う全ての疾患領域をリードすることを目指しています。
- 私たちは、革新的なバイオ医薬品を創出し、世界中の患者さんに届けることに貢献します。
- 私たちは、事業を成長させ競合他社より優れた業績を上げることで、患者さんがより良い生活を送ることを助け、株主に魅力的な収益で報い、コミュニティに貢献することができます。
- ノボ ノルディスクの経営理念は、財務、社会、環境への配慮のバランスをとるというもので、私たちはそれを「トリプルボトムライン」と呼んでいます。
- 私たちはオープンかつ正直であり、意欲的で責任を持った行動をとり、すべての人々を尊重します。
- ノボ ノルディスクは、社員に自己の潜在能力を発揮させる機会を提供します。
- 私たちは、クオリティと企業倫理について決して妥協しません。

私たちは毎日、患者さんのため、社員のため、株主のために長期的に何が最善なのか常に念頭に置きながら、難しい選択をしなければなりません。それが私たちのあり方、ノボ ノルディスク ウェイです。

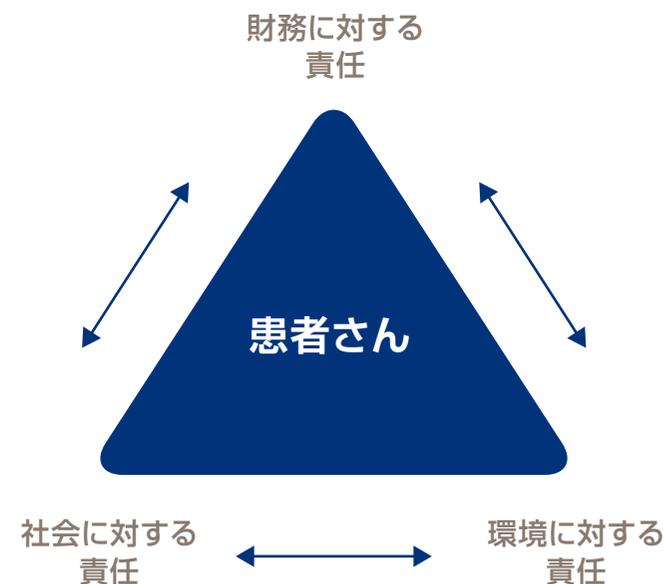
トリプルボトムラインの経営原則に沿いバランスのとれた意思決定をしています

ノボ ノルディスクは、健全な経済、健全な社会、そして健全な環境こそが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。

ノボ ノルディスクでは患者さんを中心に、財務・社会・環境の3つの側面で責任を果たし、短期的な売り上げと長期的な利益のバランスをとった意思決定を行うことを経営の原則として定款に明記しています。また、人権やコンプライアンス等の順守を通し、リスク回避や軽減といった企業として果たすべき責任を追求しています。さらには、社会との共有価値の創造を目指した行動を事業戦略に取り込み、地域の問題解決から持続可能な社会のためのグローバルな課題への取り組みにも発展させています。

トリプルボトムラインの原則により、ノボ ノルディスクは患者さん中心の取り組みを続けながら、以下のことを達成していきます。

- ・長期的な事業運営とステークホルダーの経済的利益について財務面の責任を果たす。
- ・患者さん、従業員、コミュニティからの関心に配慮し、製品の開発と提供にとどまらず社会面の責任を果たす。
- ・ノボ ノルディスクの活動における自然環境への影響を最小限にするために環境面の責任を果たす。



エッセンシャルズ

1. 私たちは、患者さん中心のビジネスアプローチをとることによって価値を創造します。
2. 私たちは、意欲的な目標を設定し、エクセレンスを追求して仕事に取り組みます。
3. 私たちは、財務、環境、社会面における業績に対して責任を持ちます。
4. 私たちは、ステークホルダーの利益となるイノベーションを提供します。
5. 私たちは、主要なステークホルダーと良好な関係を構築し、維持します。
6. 私たちは、全ての人々を尊重します。
7. 私たちは、一人ひとりの業績や能力開発を重視します。
8. 私たちは、健全で魅力的な職場環境を整えます。
9. 私たちは、あらゆる行動においてアジリティとシンプルシティを追求します。
10. 私たちは、クオリティと企業倫理について決して妥協しません。

究極のイノベーションを追求し、 アンメットメディカルニーズに 応えます

製薬産業を取り巻く環境は大きく変化しています。ノボ ノルディスクは限られた疾患領域に特化し、長年培ってきた病気に対する深い理解と洞察を持つことが強みです。これらを生かし、イノベーションの目標値を高く設定し、他の治療領域への参入や外部とのパートナーシップの可能性も追求し、アンメットメディカルニーズに応えていきます。

糖尿病

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の治療分野で、自己注射で使用するインスリン製剤とGLP-1アナログ製剤*1を取り扱っています。

インスリン製剤では、食事の直前に投与する超速効型インスリン製剤や、1日1回投与する持効型溶解(基礎)インスリン製剤、超速効型と持効型のインスリンを配合した配合溶解インスリン製剤、そして持効型溶解(基礎)インスリン製剤とGLP-1アナログ製剤を配合した製剤など幅広い製品を取りそろえています。

GLP-1はヒトの腸管ホルモンで、20年近い研究の末、世界で初めて、ヒトのGLP-1アナログを糖尿病治療薬として応用しました。

自己注射での治療においては、注射をできる限り簡便で正確に、そして痛みなく行えるように、革新的で耐久性の高いプレフィルド型注入器も豊富に展開しています。

現在では1型糖尿病の根治を目指した幹細胞治療の研究にも取り組んでいます。また、幹細胞治療の技術は、将来的には他の重篤な慢性疾患治療へも拡大する予定です。





成長障害

ノボ ノルディスクは成長ホルモン療法のパイオニアで、過去40年にわたり、治療を必要とする患者さんの生活改善にイノベーションで貢献してきました。カートリッジに充填した溶解型の成長ホルモン製剤を世界で初めて開発したのはノボ ノルディスクで、今では当社の成長ホルモン製剤は世界で最も多く使われています。

血友病

ノボ ノルディスクはインヒビターを保有する血友病患者さんの出血治療における重大なアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用して血液凝固第Ⅶ因子製剤を開発し、1996年*2に治療薬として提供を開始しました。当時は、インヒビターを保有する血友病の患者さんは少数であったものの、他に治療薬がありませんでした。これを機に、ノボ ノルディスクは血友病や希少な出血性疾患の患者さんの生活改善を目指す幅広い種類の医薬品の開発を進めています。

肥満症

肥満症の患者さんの数は世界的に大きく増加しており、世界保健機関（WHO）等の保健機関により、肥満症は長期的な管理を必要とする慢性疾患であると認識されています。しかし、肥満症の治療薬は現在ほとんどなく、アンメットメディカルニーズの大きな領域です。

肥満症はさまざまな健康障害のリスクであり、糖尿病の原因にもなります。そのため、糖尿病の患者数を減らすためには、肥満症の予防や治療にも取り組む必要があると考えています。ノボ ノルディスクは、20年以上前から肥満症の研究に取り組んでおり、2015年より、新規の肥満症治療薬の提供を開始しています*3。

ノボ ノルディスクは、肥満症ケアにおける重大なアンメットメディカルニーズに応えるべく力を尽くすとともに、この疾患分野の科学的な進展を後押しし、新しい肥満症治療薬を開発する目標に熱意をもって取り組んでいます。

*1 GLP-1(グルカゴン様ペプチド-1)は、食事に反応して分泌されるヒトの腸管ホルモンです。
GLP-1には食欲抑制と血糖値制御という2つの働きがあります。

*2 日本では2000年発売

*3 日本未発売

超高齢化に伴い糖尿病の有病者が増加し、これまでと異なる医療の質が求められています

糖尿病患者数が増加の一途をたどる現在、糖尿病の治療はより良い医薬品の開発に加え、患者さんがリスクに気づき、患者さんや家族を支える仕組みが必要になっています。

高齢化に伴い糖尿病の患者数は増加

糖尿病の有病者数の増加は世界的な課題で、その背景には運動不足、食生活の欧米化、過体重や肥満があります。日本においては、それに高齢化が加わり糖尿病の有病者数は増加の一途をたどっており、直近の推計では約1,000万人いるとされています¹。

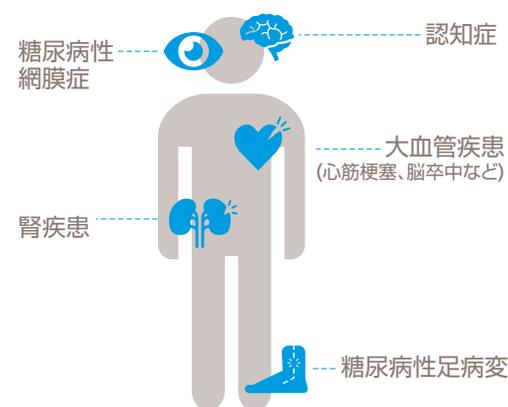
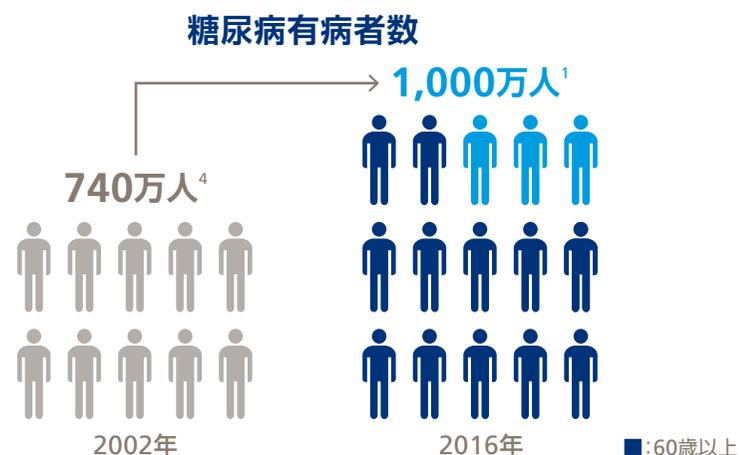
糖尿病は初期の段階では血糖値が高くても自覚症状がないため、重篤な身体的症状が発現するまで、何年も気づくことなく進行する場合があります²、多くの患者さんは生活習慣の改善や治療に前向きに取り組めないでいます。

糖尿病はリスクに早期に気づき、対処することが重要

糖尿病患者さんの3人に1人は、将来への不安、治療に関する時間的負担、合併症への対処など、糖尿病が原因となる心理的負担を感じています³。また、糖尿病によりさまざまな合併症を併発すると、患者さん本人はもちろんですが、家族にも大きな影響を与えます。このため、糖尿病患者さんの身体面および心理面の健康を維持するためには、革新的な医薬品の開発に加え、患者さんがリスクに気づく環境や教育、そして患者さんや家族を支える社会の仕組みが必要であると考えます。

- 国内の糖尿病有病者数は増加の一途をたどっており、糖尿病患者さんの80%以上は60歳を超えています¹。

- 糖尿病により血糖値が高い状態が長期間続くと、全身の血管に悪影響を及ぼしさまざまな合併症を引き起こす可能性があります^{2,5}。



1.厚生労働省:平成27年国民健康・栄養調査報告, 2017

2.International Diabetes Federation:IDF Diabetes Atlas 7th edn:Brussels, Belgium, 2015

3.Nicolucci A et al.: Diabet Med 30(7):767-777, 2013

4.厚生労働省:平成14年糖尿病実態調査, 2002

5.日本糖尿病学会 編:糖尿病治療ガイド2016-2017 文光堂:77, 2016

ノボ ノルディスクは、患者さんが糖尿病を克服し、 より良い生活を送るためのさまざまな活動に取り組んでいます

糖尿病を克服することを目指し、私たちは日々革新的な製剤の開発を続けています。そして、これまで多くの患者さんが抱える課題に応えてきました。しかし、製剤だけで糖尿病のすべての課題を解決できないことも事実です。患者さんの心理的・社会的な課題も解決していかなければ、本当の意味で糖尿病を克服することには繋がらない。そんな思いから、当社ではChanging Diabetes®という活動に取り組んでいます。

都市における糖尿病患者の増加に構造的に取り組む—Cities Changing Diabetes

糖尿病とともに生きる人々の3人に2人が都市部に暮らしており、都市では糖尿病がまん延しています。ノボ ノルディスクは、多様なパートナーと連携し、都市における糖尿病増加に取り組むため、Cities Changing Diabetesと呼ばれるプログラムを世界で立ち上げました。本プログラムでは、都市において糖尿病が増加している主な要因を理解し、知見を共有し、糖尿病患者さんのケア改善のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病患者さんの健康改善を目指しています。

日本では、福島県郡山市において、市役所、福島県立医大と連携し糖尿病共同研究に取り組んでいます。

2型糖尿病患者さんの学ぶ機会を提供する—歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは糖尿病患者さんが友人や家族とともに、糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖コントロールのために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。



ノボ ノルディスクは糖尿病とともに生きる人たちが、もっと自分らしく、ずっと笑顔で暮らせるように支え続けます

糖尿病とともに生きる人々へ勇気を与え応援するーチーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が1型糖尿病患者で構成されたプロサイクリングチームです。チーム ノボ ノルディスクのミッションは、糖尿病とともに生きる人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援することです。

選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。

1型糖尿病の子どもたちが病気とともに生きる力をつける手助けをするー思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

2001年より公益社団法人日本糖尿病協会後援のもと「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。これには、日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプの参加者を対象に、絵を描くことを通じて観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖コントロールに活かしてほしいという願いを込めています。毎年約900枚の絵が集まり、その中からグランプリ1名と優秀賞9名を表彰しています。

ノボ ノルディスクは、『早期糖尿病の診断の実現』、『患者さんの可能な範囲で制約のない生活を送るために必要な治療へのアクセス向上』、『都市にまん延する糖尿病の克服』を目指し、患者さん、政府や自治体、医療従事者、関係団体などと提携した取り組みを世界で進めています。

詳しくはこちらから

Changing Diabetes



バイオ医薬品で治療するまれな疾患領域でも治療薬の提供を超えた取り組みを行っています

バイオファーマ領域では現在、血友病やまれな出血性障害、成長障害のための治療薬を主に取り扱っています。これらの患者数は糖尿病ほど多くないものの、治療が適切に行われれば患者さんやご家族の生活改善につながる病気です。ノボ ノルディスクは「患者さんのQOLを向上させる」というゴールに向けて、さまざまな方向から全力で取り組んでいます。

血友病に対する取り組み—血友病と生きる人々のより良い明日を築くために—

ノボ ノルディスクは、Changing Haemophilia®(血友病と生きる人々のより良い明日を築くために)のコンセプトのもと、革新的な製品の開発や供給を行うとともに、血友病や血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。

途上国では血友病は診断率や治療への認識が低い疾患であり、多くの患者さんが今も診断、および十分な治療を受けることができていない状況です。2005年に設立したノボ ノルディスク血友病財団(NNHF)では、途上国における診断と治療の能力開発、血友病の診断と登録、疾患啓発や教育の3領域を柱とした、さまざまなプログラムを展開しています。

国内では血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動をWorld Haemophilia Day(4/17世界血友病デー)に合わせて開催し、また、モバイル輸注記録システム「ゆちゅレコ®」を2010年より提供し、輸注記録の電子化・簡便化にも取り組んでいます。

成長障害に対する取り組み—より高い治療効果を得られるように—

子どもの身長には個人差があるもので、成長過程において、周囲との身長差がうまれるのは当然です。ただ、子どもの低身長の中には、医学的な原因が隠れているケースがあることもわかっています。ノボ ノルディスクは、子どもの低身長症の早期発見、早期治療開始の促進を目的とした啓発活動を行っています。各地で小児科医師に対して、成長障害を起こしうる疾患に関する情報提供、早期からの診断・治療の重要性について訴求しています。

また、成長曲線の利用と普及促進ならびに低身長症など成長にかかわる疾患啓発を目的として、「わが子の身長 はかろう! つけよう!」キャンペーンを2011年から実施しています。子どもの低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターなどの資料を無料で配布しております。

また、2017年からは、お子さんの身長と体重を簡単に入力し、成長曲線に記録ができるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しています。



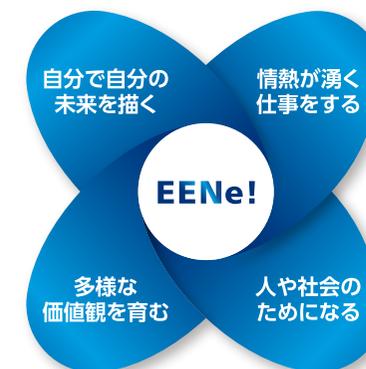
従業員一人ひとりが能力を発揮し多様な価値観を育める働きがいのある職場環境です

ノボ ノルディスクの成功は従業員とその能力によって支えられています。従業員の持続可能なキャリアを後押しする制度だけでなく、従業員自身が自らの成長やキャリアにオーナーシップを持ち、より多様な経験を積みながら自身のキャリアを開発する公平な機会を提供しています。

自らのキャリアを自ら選択する

社内で空席が生じたり、新たに作られたりしたポジションは、オープンポジションとしてその採用を社内で広く公募する取り組みを実施しています。(エンプロイー エンパワード ネクストキャリア プログラム: EENe!)

従業員が自身のキャリアを自ら選択するという機会を通じて、さまざまなアイデアから学び合い、多様な価値観を育み、情熱を持って、独自の未来を描ける環境づくりを目指しています。



働きがいのある就業環境

プライベートと仕事のバランスがよい状態であってこそ、従業員は高いモチベーションをもち、仕事に対し十分に能力を発揮できると考えています。ノボ ノルディスクでは、魅力的な職場環境を提供し、従業員のさまざまな働き方を支援できるよう各種制度を整えることで、従業員のエンゲージメントを高め、持続的なビジネスの実現を目指しています。

ダイバーシティと機会均等

ノボ ノルディスクでは、全ての人に平等な機会を提供することをノボ ノルディスク ウェイに掲げています。

仕事上での人との交流は、従業員同士であっても、仕事でかかわる社外の人に対しても、敬意を払い、オープンかつ正直に、そして礼儀正しい態度で行うことを重視します。また、多様な人材があつまることで、組織が活性化し、イノベーションが生まれると信じています。

このため、グローバル人材の育成にも力を入れ、ダイバーシティとインクルージョンの課題にも積極的に対処しています。職種や部署、勤務地を超えたネットワーキングによって、キャリア開発や働き方についてのさまざまな工夫・アイデアを共有し、互いに高め合う取り組みを実施しています。

柔軟な働き方

長い人生の間には、結婚や出産、介護といったさまざまなライフイベントがあります。ノボ ノルディスクでは、優秀な人材を惹きつけ、従業員がさまざまな境遇に直面しても働き続けられるようにするための制度を整えています。

また、いつでも、どこでも働ける環境を提供するため、内勤業務においてはテレワークも推進しています。さらに有給休暇の取得率や健康診断の受診率の向上にも力を入れ、従業員が健康的な状態で仕事とプライベートを両立できるよう取り組みを進めています。



マネジメントの仕事を選択するのは自らのキャリアにとって自然なことだった

ノボ ノルディスクに新卒で入社して7年間、東京都多摩地区でMRとして地域医療に携わり、その後4年間は東京都心部の大学病院や基幹病院を担当しました。MRとしてのキャリアを積むにつれ、自分自身の仕事が徐々に周りへの影響力を持ち始めたことに気づきました。後輩の指導、担当する医療機関が持つネットワークを駆使した戦略、上司であるマネジャーへのサポートなど、自分の仕事の結果が自分以外の誰かにも影響を与える環境で、自らのキャリアにおける次の目標が自然と見えてきました。それはマネジメントの仕事を通して自分のチームと一緒に成長することでした。

2018年に社内公募制度で営業のマネジャー職の募集がありました。社内での書類選考、面接を進めるにつれ、自分がキャリアをどのように切り開いていきたいのか、その道がよりクリアになりました。自分に足りないものは何か、目指すものは何かを模索することで新しいキャリアにチャレンジしたい気持ちはますます強まり、幸運にも現在のポジションに就くことができました。現在は鳥取県、島根県を管轄する地区のマネジャーとして、初めての土地で多くのことを学びつつ、信頼できる部下とともに新しいチームを築いています。

K.S.

鳥取県、島根県を管轄する山陰エリアのエリアマネジャー、2019年より現職。2008年に新卒で入社しノボ ノルディスクでのキャリアをスタート。東京都でMRとして10年間従事し、社内公募制度を利用して現職に着任。

営業のマネジャー職をしていた頃から、より良い組織開発に関心を持つようになりました。20年以上のキャリアを変えることには大きな決断と挑戦が必要でしたが、自分自身でキャリアを設計し、実現できることは素晴らしいことです。そしてこの会社にはその機会があります。

T.I.

1995年新卒入社。MRおよびエリアマネジャーとしての経験を生かし、現在は人事部でHRビジネスパートナーとして新たなキャリアをスタート。



MRに必要なのは専門的な知識だけではありません。顧客や周りの人に影響を与えることができる、行動変容のフックになれる人材が求められます。それをMRとして体感し、求められる人材を育てることができるトレーナーの職にチャレンジすることで、自らのキャリアの広がりを感じています。

M.Y.

2016年中途入社。MRとして従事した後に社内公募制度を利用して、現在はMR研修のトレーナーを務める。

life- changing careers™

ここには、人生を変える仕事がある。

ノボ ノルディスクでのキャリアをスタートしたのは
人とかかわる仕事がしたかったから。

マネジャーになった今でもその気持ちは変わり
ません。顧客だけでなく、ともに働く仲間たちと
一緒に成長できる仕事に誇りを持っています。

自らのキャリアは会社から与えられるのではなく、
自分で選択し、切り開き、築き上げるものです。

(営業マネジャー、社内公募制度を利用して2019年より現職)

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

明治安田生命ビル

TEL. (03) 6266-1000 (代表)

FAX. (03) 6266-1800

www.novonordisk.co.jp



JP19NNG00011 (2019年12月作成)

